P2Pで作る異世界

発表者:fog

私の将来の夢 … 異世界で生活すること!

- ・ 魔法のお店を開いて、色々なアイテムを売ること
- 農業したい!
- 乗り物が好き! 船、飛行機、鉄道
- ・ 国が好き! 国が作れる仕組みを作ってみたい!











今まで作ったゲームの紹介













今まで作ったゲームの紹介



可愛くて癒される世界を作りたい!(生活重視)







TikChoco Online 異世界ファンタジーオンラインゲーム ハウジング 2024年 鋭意開発中 サービス開始したい!

異世界を作ることにした!

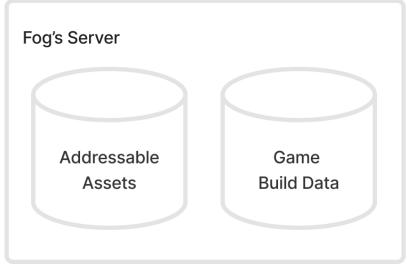
アニメ調は素晴らしい!可愛い!! 生活したい

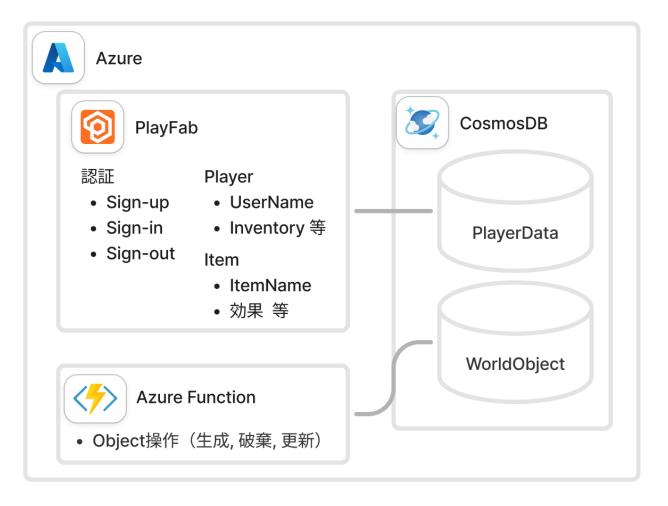
やりたいことをゲームに全部入れる!!



アーキテクチャ図







問題点 安心して異世界で生活し続けられるの?

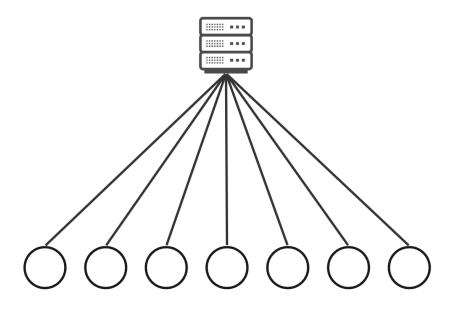
- ・運営がCrazyになったら、ユーザーは離れてしまう
- 個人でサーバー代を払い続けるのは果たして持続可能なのか?
- ただ生活したいので、ビジネスモデルに依存したくない



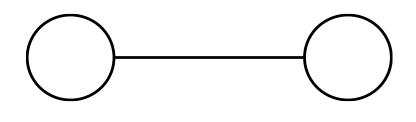
P2Pがこれらの問題を解決できるのでは?!※

※ あくまでfogの勝手な考えです

Peer to Peer (P2P)って何?



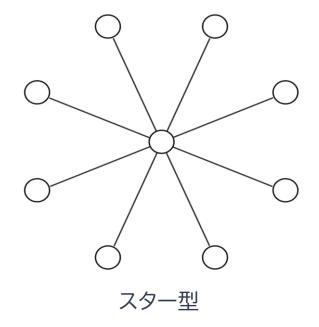
Client-Server (CS)

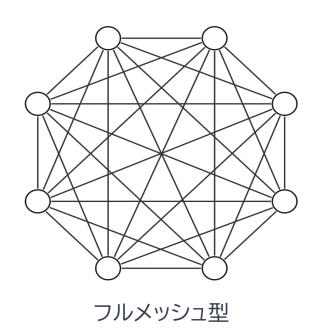


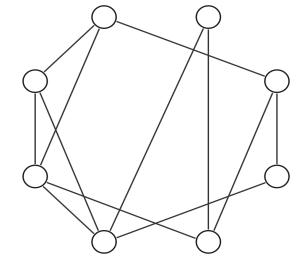
P2P

対等なもの同士が通信する

どんな接続方法がある?







パーシャルメッシュ型

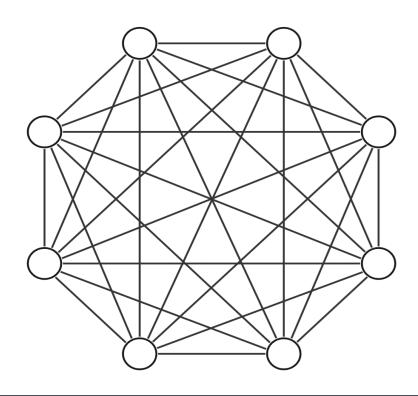
どうしてP2P?

持続可能性

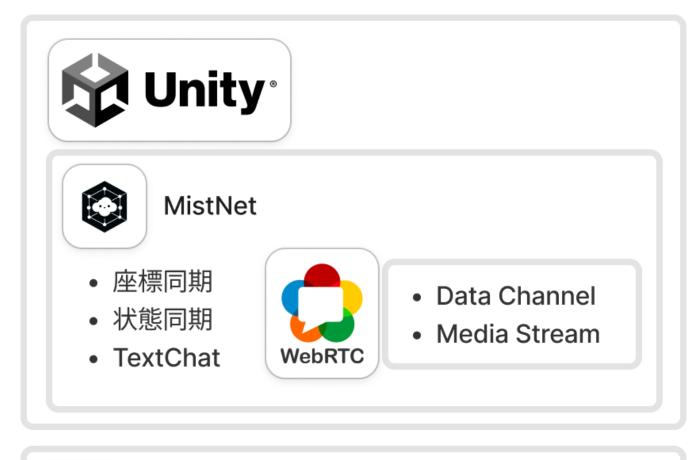
- 管理者がいない
- 運用するための費用がかからない
- 一度アップロードしたものは残りやすい
- スケーラビリティ
- システムの特定部分に負荷が集中しない
- ユーザーの増加に影響されない
- 冗長性·耐障害性

アクションゲームに向いている

• 理論的にはP2PはCS型よりも低遅延で高速な通信が可能



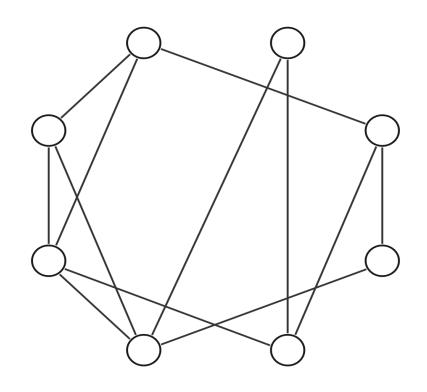
変更後





Asset Bundleの 置き場所として検討中

ネットワークを構造化する!



様々なアルゴリズムがあるよ!

- Chord (2001年)
- Kademlia (2002年)
- Skip Graph (2003年)

Kademlia

実用的に使用されているものが多い

使用例

- 分散 File Storage
- 分散 Hole Punching

Protocol

- PING
- FIND_NODE
- STORE
- FIND_VALUE

Kademlia IDについて

Node ID

• Nodeを識別する

Data ID

Data IDとNode IDの距離が近いNodeに保存される

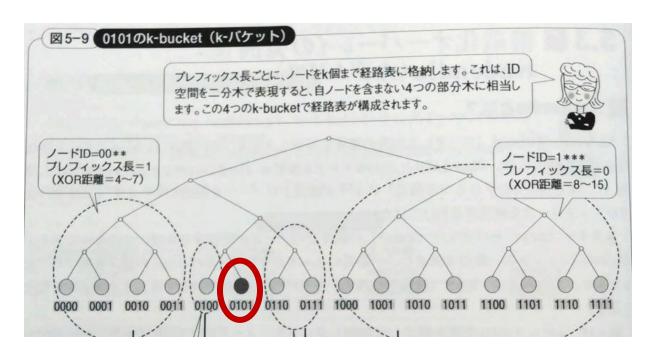
• 保存するDataを識別する

通常はSHA-1を使って生成される

160 bitのハッシュ値

Kademlia IDの距離の計算

経路表に他のNode情報を格納する



江崎浩監修『P2P(ピア・ツー・ピア)教科書』インプレスR&D、インプレスコミュニケーションズ、2008年

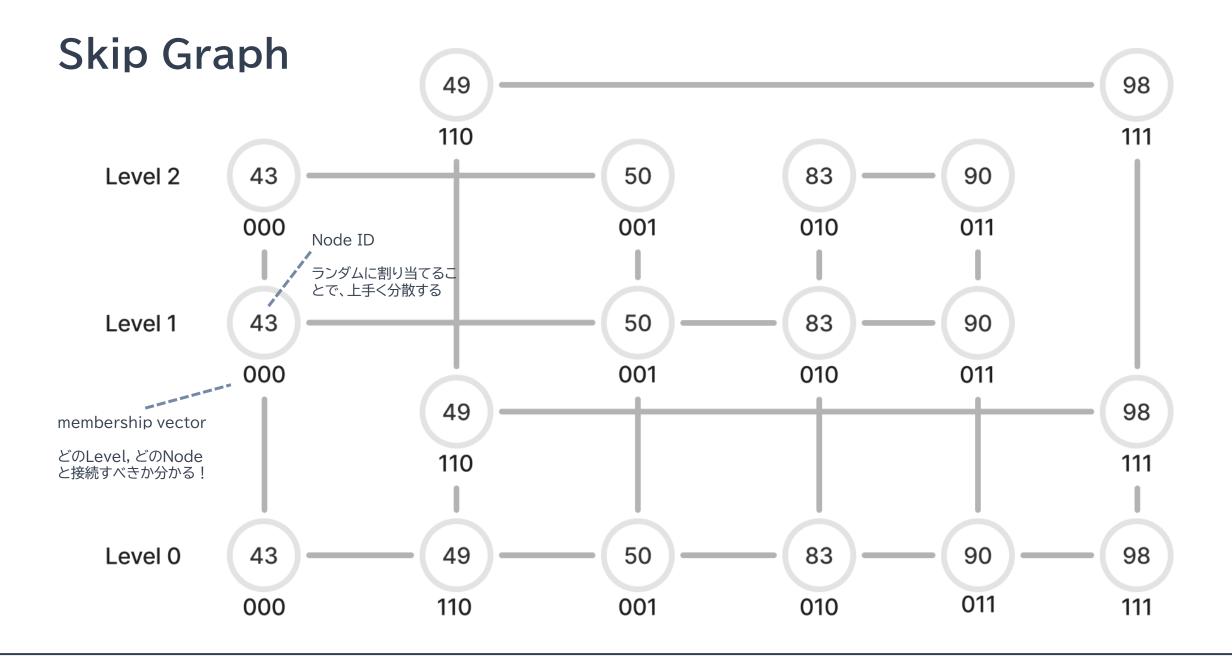
 $0101 \oplus 0111 = 0010$

XOR距離は8

Α	В	A XOR B
0	0	0
0	1	1
1	0	1
1	1	0

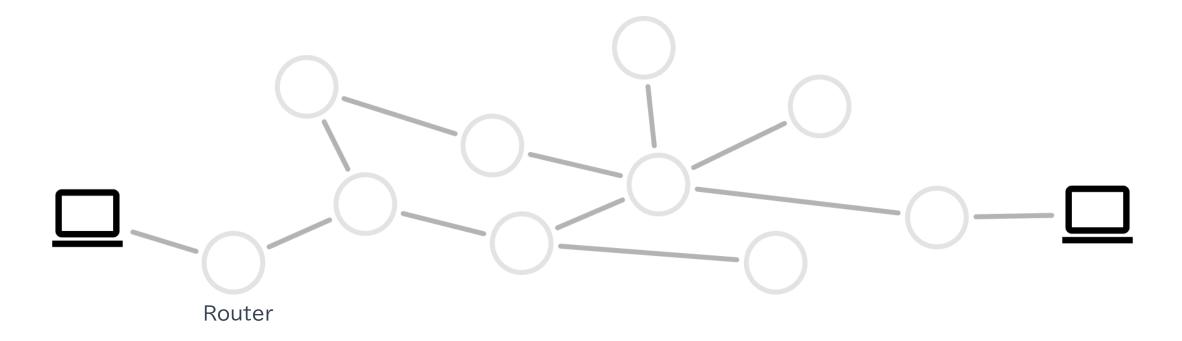
kは通常20

つまり1つのbucketに 20個まで格納される



どうやって相手に接続する?

NAT (Network Address Translation) 越えしよう!



NAT越えには何がある?

UDP Hole Punching

• NATの壁に一時的な「穴」を作る

TCP Hole Punching

• 同時にTCP接続を試みる (SYNをお互い同時に投げる)

分散 Hole Punching

・ 複数のピアがサーバーを使わずに互いの情報を共有し、NAT越えをする

MistNet Libraryを開発した

Unityで簡単に入れられる!

```
[MistSync(OnChanged = nameof(OnChangedName))]
private string UserName { get; set; }

void OnChangedName () {}
```

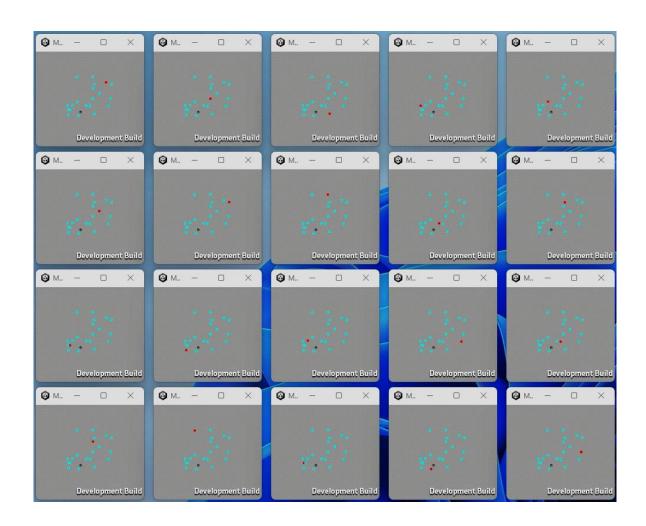
```
[MistRpc]
void RPC_XXX () {}

syncObject.RPCAll(nameof(RPC_XXX), args...);
syncObject.RPCOther(nameof(RPC_XXX), args...);
syncObject.RPC(id, nameof(RPC_XXX), args...);
```



https://github.com/DecentralizedMetaverse/mistnet

実際に動かした様子



うん…。 何が何だか、わからないね! ハハハハ!!

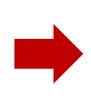
P2Pのような分散的なマネジメント

発表者:fog

マネジメントの話

マネジメントに関しても分散的に行ってみた

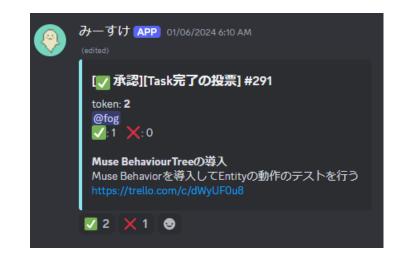








自動的にタスクのカードが作成される



タスクを提案すると投票が行われる

タスクが完了すると自動的に投票が行われる

タスク周りの管理を自動化

マネジメントの話

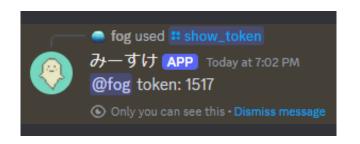


締切が近いとメンションが飛んでくる



何か予定がある場合も自動的に通知する

タスク周りの管理を自動化



報酬の支払いも自動化他の人にも渡すことが可能

その他の変更

毎週ミーティング → 作業会 に変更

• 何か困ったことがあれば作業会で話す

進捗の報告をなくした

タスクのカードや通知を見れば分かるだろうと思った

結果 なんと開発スピードが下がってしまった!

- 人と人とのコミュニケーションが減った
- メンバーが参加しなくなった
- 投票に参加しない人が増えた

考察

- 組織の心理的安全性がなくなったかも
- 全体のコンテキストの把握が難しくなった可能性
- 投票するのがめんどくさい?
- 不思議なマネジメントなので受け入れ難い人もいるかもしれない

fogの所感

進捗を説明してもらうこと

• 一見すると無駄だと思うかもしれないが、意外と大事だったりする

人と人とのコミュニケーションは重要

- ・たまには開発以外の雑談も必要そう
- ・ 心理的安全性の向上

ゲーム開発集会に遊びに来てね~

隔週 日曜日 21時開始



Discord https://discord.gg/Mes3nP3mZt



QQ: 917160087



私のゲーム会社の知り合いはあまりVRChatにこれなくなりました